

# ここが聞きたい ずばり村政を問う！

一般質問は会議録に基づき、議会広報特別委員会で編集し、掲載しています。詳細は会議録の閲覧ができます。

## 小堀 孝二 議員



### 今後の農業振興について

**Q** 有機農業には土づくりが不可欠であり、本村は堆肥センターを核とした土づくりにごう取り組むのか、特色ある産地作りとは、生産から加工・販売までを農家自らがどう関わるのか、つまり六次産業化をどう図るかが重

要と考えるが、村としての今後の目標、計画を問いたい。

**A** **農政課長** 本村としては、有機農業推進の条件は次のようなことから十分整っていると考えている。

- ①多くの観光客が訪れ、多くの農畜産物が消費、購入されている。
  - ②栽培技術の確立が十分可能。
  - ③冷涼な気候を利用しての農薬や有機農業が適している。
  - ④堆肥センターで生産された良質堆肥の利用促進を図ることで、新鮮で安全な農産物の確保が可能。
- 以上のようなことから農業資材高騰の今こそ、本村がそのモデルとなるよう、農家、行政が一丸となって農家所得の向上に努める。

**A** **村長** 独自化ということについてはしつかり進めていくが、一番最初は消費者が安心して購入できる良いものを作ることではなければならないと考えている。

**Q** オルガ堆肥会社との契約はどのようなものか、また契約期間は？

**A** **村長** 契約期間は3年。また、村でやる部分と会社でやる部分は分けている。会社からの斡旋により堆肥を利用して生産された農産物は、販売まで会社が手がけていくということになっている。

なお、様々な有機堆肥があるが、村としては個々の農家が利用する

堆肥について幅広く支援していきたい。

**Q** 村独自のオリジナル堆肥を推進したほうが産地化の確立は早いのではないか。

**A** **農政課長** 堆肥も、オルガ堆肥の先生から好評を得ており、村としては双方の利用促進を図ってきたい。

**A** **村長** 一日も早く協議会を立ち上げ、ご提案もしつかり検討しながら、また人的な体制整備も図っていきたい。